

2021年 12月 浜松聖書集会のご案内

(時間 : 午前10時 ~ 正午)

- 12月5日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会 : 大手 美千代
聖書講話 : ローマの信徒への手紙 3章21~26節
「イエスの信」～直訳から見えてくるもの～ 榎本 潤
- 12月12日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会 : 生江扶左子 感話 : 伊藤 純子
聖書講話 : イザヤ書 55章
「わたしの道は、あなたたちの道を高く超えている」 武井 陽一
- 12月26日 (日) クリスマス集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会 : 武井 陽一 10時~13時半まで
・ 聖書講話 : マタイによる福音書2章1~12節
「クリスマスの始まり」 水戸 潔
・ 感話会 (一人3分程度) 愛餐会
当日、お弁当、お菓子を用意しますので、出席者は武井まで
申込み下さい。食事代 600円。(予定)

・・・通 信・・・

- 2022年1月2日 (日)、集会は休みとします。9日より始めます。
○ 2022年の聖書集会当番について
別紙の通り案を作成しました。ご覧になって自分の担当で都合が悪いところや、負担がありましたら、武井まで お知らせ下さい。

「わたしはここにいる、ここにいる」 溝口 正

わたしに尋ねようとしないう者にも わたしは尋ねだされる者となり
わたしを求めようとしないう者にも 見出される者となった。
わたしの名を呼ばない民にも わたしはここにいる、ここにいる と言った。
反逆の民、思いのままに良くない道を歩く民に 絶えることなく手を差し伸べてきた。

イザヤ書65章1~2節

この1~2節を読みながら、これは信仰に導かれる前の私自身のことだと心が震えた。これは信仰に導かれる前の自分自身のことだと心が震えた。十五年戦争が敗戦に至るまでの私は、まさに神を尋ねない者、求めない者、御名を呼ばない者であった。天皇を神と信ずる群像礼拝者であり、わが国も私もそうであったが、思いのままに良くない道を歩く神への反逆者であった。その結果国民を総動員して偶像礼拝を強制し、侵略戦争の大罪を犯した。

それにもかかわらず神は、反逆の民への審判をくだすと共に、新たに世界に輝く平和憲法をその反逆の民に賜った。神ご自身の方から私を尋ね「ここにいるよ」と呼びかけ、御姿を顕された。私は敗戦と同時に生きる望みを打ち砕かれ死を覚悟した。まさにそのとき、神は御子イエス・キリストをお遣わしになり「子よ、心安かれ、汝の罪赦されたり」と告げたもうた。私は十字架の主を仰ぐ者へと変えられ、今や八十年の人生全体が主イエスのこの一言によって闇から光の中へと移されていることを知るに至った。

キリスト者の生涯は、朝な夕なに十字架の主を仰ぎつつ、父なる神への祈りの中に霊交を与えられる。そのただ中で罪の赦しの恵みに包まれ、救われている感謝と喜び、そして神への賛美が心の奥底から湧きあふれてくるのである。今や、存亡の危機に突進しているわが国に対しても、神は「わたしはここにいる。悔い改めて第九条の平和の道へ立ち帰れ」と救いの手をさしのべている。

(2006年10月『復活』第475号)